

●ふるさと岐南の良さを伝えるグループ

地域課題

「岐南町はどんなところ?岐南町の文化財を知っていますか?」と尋ねてもすぐには答えられないことがある。

子どもたちは地域の人々との交流も、伝統行事に参加する機会も少ない。岐南町の良さを知って伝えることは、今後、町が発展していくためには重要なことである。

活動内容

岐南町にある歴史や文化財、史跡等について記述のある書物は図書館に保存、閲覧されているものの、あまり知られていない。地域行事についても、変化したり消滅したりしているため、これらの情報を一元化した町の情報誌として、ふるさと岐南の冊子を作成し、発信していく。

●子育て支援グループ

地域課題

岐南町は、住みよい町、子育てに配慮のある町として、人口増加率が県内第4位、15歳未満の人口割合も第9位と高い。

にもかかわらず、三世同居の割合は県平均を下回り10.2%であり、核家族化が進んでいる。両親共働き家庭も増え、子どもたちも習い事等で忙しい毎日を送っているなど、親子のコミュニケーション不足が課題となっている。

活動内容

親子やグループで遊ぶ中での良質なコミュニケーション体験、子育ての悩み等保護者同士の交流会、子ども同士の良質なコミュニケーション体験の3つの活動を行った。

また、親子の共感性を育むため、ワークショップを通して、親子のスキンシップを図った。

活動への期待（岐南町生涯教育課から）

どのグループも、「岐南町の良さを若い世代に伝えたい」という思いが強く伝わってきます。二世帯、三世帯の交流を通して、岐南町の良さを引き継いでもらうことが、これからの岐南町の発展につながると考えられます。

そのためにも、今回の活動で縦のつながりが、より深くなってきたことは成果として挙げられます。今後は、さらに深いつながりを目指し、縦だけでなく、地域の横のつながりを意識した活動に広まっていくことを期待します。そうした人々のつながりが深くなることで、人が育ち合う地域づくりをより一層進めていくと考えます。

今後の展望

「ふるさと岐南・歴史文化くらし物語」としてダイジェスト版を作成することができた。今後、小学生への読み聞かせを継続して、よりわかりやすい冊子にするために、イラストや写真等の構成も考えていきたい。



ふるさとのよさを小学生に伝える

今後の展望

低学年の参加がほとんどだったことから、今後は直接小学校等へ働きかけを行うなど、高学年の参加を促す必要性がある。



子ども同士のコミュニケーション体験

「岐阜県コミュニティ診断士」を派遣します

県では岐阜経済大学と協働し、「岐阜県コミュニティ診断士」を養成・認定しています。診断士は、地域の現状を把握して課題を抽出したり、住民の話し合いを進行してまとめる役割（ファシリテーター）を担ったりと、地域活動のお手伝いをしています。ぜひご活用ください。

活動の例

安八郡神戸町では、女性が魅力を感じるまちを創るため、女性の感性を活かし自由な発想で、住みたくなるまちづくりを考える「神女（かみじょ）会議」を開催しました。

県では、その会議のワークショップを支援するためファシリテーターとしてコミュニティ診断士を派遣しました。



詳しくはホームページ検索サイトで